

三方領知替から200年。友好都市締結から25周年。

行田市・桑名市・白河市の “おたから”を見にいこう

今年は「三方領知替」から200年、行田市・桑名市・白河市の友好都市締結から25周年の節目の年に当たります。これを記念した合同企画展が、桑名市博物館で始まります。その見どころを紹介します。

問 この記事については秘書広報課(☎24-1492 FAX 24-1119)

私をご紹介します!

桑名市博物館 会計年度任用職員 鈴木 亜季さん
歴史好きが高じて学芸員に。特に江戸時代への興味が高く、古文書を読み解くのが好き。



表紙の
おたから紹介



江戸時代の桑名城下の町並みが目に浮かぶよう

文政年間桑名市街之図

文政6年の領知替の際に作成された桑名城下の絵図です。屋敷には白河から移ってきた松平越中守家の家臣たちの名が記されています。武家、町人、寺社と居住区が分けられていたようですね。地図を見ながら、桑名の城下町を散策してみたいかがでしょうか。

(桑名市博物館蔵)

義弘の作刀11口のうち、最高額がついた一振り

刀 無銘(名物横須賀江)【国重要美術品】

越中(現在の富山県)の刀工、江(郷)義弘の作と伝えられている刀です。八代将軍・徳川吉宗が全国の名刀を調査させた「享保名物帳」に記載された名刀で、7,000貫(現在のおよそ数億円)の値がつけられています。元は横須賀(現在の静岡県掛川市)に伝わったため、この名が付きましました。

(小峰城歴史館蔵)



松平下総守家の初代・松平忠明が関ヶ原で初陣

関ヶ原合戦図屏風【行田市指定文化財】

左右で一对となる屏風には、左隻に「関ヶ原合戦」当日の様子と、右隻にその前哨戦として行われた大垣での「杭瀬川の戦い」が描かれています。幕末ごろに岐阜付近で製作されたと考えられており、明治期に岐阜県知事を輩出した行田市湯本家に伝わりました。

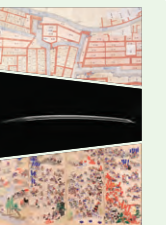
(行田市郷土博物館蔵)



- 02 キラリ★くわな人
- 03 **特集** 三方領知替から200年。友好都市締結から25周年。
行田市・桑名市・白河市の
“おたから”を見にいこう
- 08 令和4年度決算報告
～住み続けられるまちへ向かって～
- 10 職員の人事・給与などの公表
- 11 みんなの医療を守るために
かかりつけ医を持ちましょう
- 12 子育て広場
図書館・六華苑・博物館
- 14 メディカルニュース
くわな防災教室
- 15 かんたん旨レシピ
みんなの掲示板
- 16 EVENT ALBUM(イベントアルバム)
- 18 くわなINFO
- 28 無料相談
- 29 デジタルファースト取りくみレポート
市長まちなか探索
- 30 HAPPY BIRTHDAY
桑名のイトコ教えてください。

今月の表紙

行田市・桑名市・白河市の合同企画展
「武門の遺産」で展示されるおたからの
中からそれぞれピックアップ! 貴重なものばかりです。



キラリ★くわな人

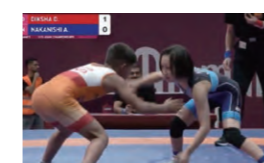
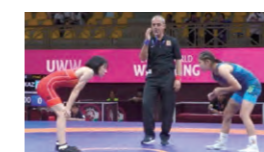


レスリング U15アジア選手権大会
33kg級 銀メダル
成徳中3年
中西 杏 さん
(桑名レスリングクラブ)



レスリング U15アジア選手権大会
50kg級 金メダル
成徳中3年
小塚 菜々 さん
(INABEレスリングアカデミー)

令和5年7月7日～16日にかけて、ヨルダンで開催された「レスリング U15アジア選手権大会」に出場した、小塚 菜々選手が50kg級で金メダル、中西 杏選手が33kg級で銀メダルを獲得されました。



7月にヨルダンで開催された「U15アジア選手権大会」の様子
上:小塚さん(左)、下:中西さん(右)

小塚さんは、昨年の同大会でインドの選手に敗れて2位だったため、今大会に力強く意気込めたそうです。そんな中、見事リベンジを果たすことができ、感
今後の目標については、2人とも来年の「U17世界選手権大会」で優勝することだと力強く意気込みを語ってくれました。2人の今後の活躍がとても楽しみです。
中西さんは、昨年の同大会で3位だったため、今大会では順位を上げることを目標としていたそうです。結果2位となり、目標を達成しましたが、「やっぱり1位になりたかった」と悔しさをにじませていました。
想を聞くと、「とてもうれしかった。ホッとしました」と笑顔を見せていました。



戦場でひとときわ目をひく、
風格ある鎧兜

レガシー 「武門の遺産 三市のおた

展覧会では、三市の持つさまざまな「
それぞれの見どころを

くろいとおどしにまいどうぐそく 黒糸威 二枚胴具足 【埼玉県指定文化財】

松平忠明が大坂の陣で着用したと伝えら
れている、鎧兜一式。鉄製の兜は黒漆、胴
は鉄製の小札(短冊状の板)を朱漆で塗っ
て黒糸で結び合わせたもので、素晴らしい仕
上がりとなっています。武勇に優れた忠明に
ふさわしい風格を備えています。
(忍東照宮蔵・行田市郷土博物館寄託)

かもん ちらしおきてぬぐいなりかぶと 家紋散置手拭形兜【行田市指定文化財】

桐・三つ葉葵・梅・菊・剣花菱・撫子といった紋が金や銅で散らされて
いる兜です。信長、秀吉、家康といった有名武将が保有した後、松平忠明へ
と伝わったとされています。大名家にふさわしい華やかさが特徴です。
(忍東照宮蔵・行田市郷土博物館寄託)



名だたる武将が保有した、
家紋の図柄を散りばめた華やかな兜

かばいろ らしゃじ 樺色羅紗地 みずたま もんよう じんばおり 水玉文様陣羽織

阿部家の藩祖、忠秋が着用したと
される陣羽織です。赤い大きな水
玉がランダムに配置され、ひとき
わ目をひくデザインになっています。
将軍徳川家光の御前で行われた
馬揃え(騎馬の優劣を競い合う行
事)で着用したと記録されています。
(小峰城歴史館蔵)



大名の奇抜ファッション!
赤い水玉柄の陣羽織

三市合同企画展の開催を記念して、図録(左・1,000円)と限定御
城印(右・300円)を販売します。図録には本企画展で展示してい
る作品のほか、行田市や白河市の会場でのみ展示された作品も
全て解説文とともに掲載されています。



「展に登場! から解説

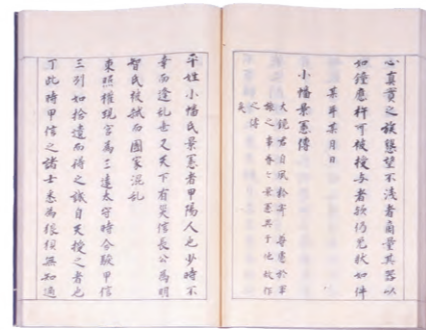
おたから」を觀賞することができます。
お聞きしました。



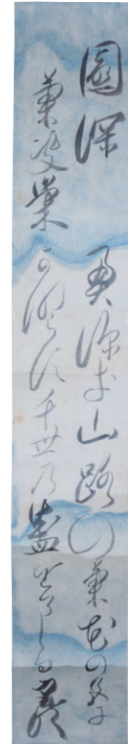
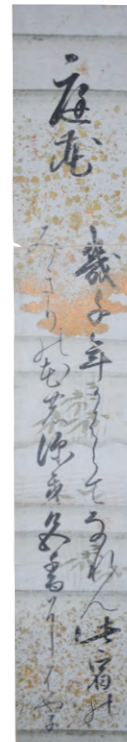
小峰城歴史館
学芸員
小野 英二さん



行田市郷土博物館
学芸員
浅見 貴子さん



詩歌や銘文、寄進状、
兵法許可状の写しなどを記載



花の美しさを詠み、
永久の平穩を祈った
仲良し夫婦による短冊

まつだいらさだのぶしせいんひつ 松平定信・至誠院筆 わかたんざく 和歌短冊

松平定信と、その継室(後妻)で
ある至誠院による2枚の短冊に
は、それぞれ植物を愛でる和歌
が記されています。2人は仲が
よかったようで、定信の自筆日
記「花月日記」には家族ととも
に舟遊びを楽しむ様子などが
記されています。
(桑名市博物館蔵)

せいよちようぎよく 政餘雕玉【桑名市指定文化財】

松平定綱の詩歌や、神社仏閣へ寄進した梵鐘や石灯籠の銘文な
どをまとめたもので、定綱の学問への強い興味関心がうかがえま
す。松平家菩提寺である照源寺の住職が、定綱の祐筆をつとめた
由井四郎兵衛次房に依頼して、編集・奉納しました。
(照源寺蔵)



鞠(まり)と戯れる唐獅子を
モチーフにした香炉

せいどうせいたまとりししこうろ 青銅製玉取獅子香炉

大きく開いた口から煙が出る姿を想像
すると、思わずずっと笑ってしまうユー
モアあふれる香炉。東洋の想像上の動
物である唐獅子は、招福除災の力を持
つとされています。阿部家に伝来した
調度品の一つです。
(小峰城歴史館蔵)

企画展概要

- 武門の遺産
—徳川家を支えた忍・桑名・白河—
- 日時 10/28(土)~11/26(日)
- 時間 9:30~17:00(入館は16:30まで)
- 場所 桑名市博物館
- 入館料 高校生以上500円、
中学生以下無料
- 休館日 月曜
- 主催 行田市・桑名市・白河市合同企
画展実行委員会
- 助成 公益財団法人 岡田文化財団

企画展では、三方領知替に
まつわる資料のほか、徳川家
との縁を感じられる文化財、
3つの大名家に伝わる美術
工芸品などを展示していま
す。この企画展を通して、三
市の縁や桑名の歴史につい
て興味を持ってもらえるとう
れしいです!



友好都市提携のきっかけ 「三方領知替」とは？

文政6年(1823年)、江戸幕府からの命令により三藩の藩主が入れ替わったのが「三方領知替」です。忍(現在の行田市)藩主の阿部正権が白河藩へ、白河藩主の松平定永が桑名藩へ、桑名藩主の松平忠英が忍藩に移りました。藩主の入れ替わりという一言ですが、藩主や家来、その家族までが入れ替わる「引越し」は、車のない江戸時代では相当大変だっただろう、と想像できます。三家が領知替となった背景には、さまざまな要因が絡み合い、藩主の健康問題や財政的問題などを踏まえての命令だったと考えられています。



友好都市提携を 結んでからの交流

1998年に、三方領知替を縁として行田市、桑名市、白河市の三市で友好都市提携を結びました。以来、ジュニアリーダー交歓研修、スポーツ交流、物産展などの交流を行ってきました。



2013年に行われた、物産観光交流の様子。



2013年に行われた合同企画展「武門の縁」の様子。



2019年に行われた三市のスポーツ交流大会。

今後の交流予定

三市友好都市スポーツ交流大会

歴史的縁の深い行田市・桑名市・白河市の友好都市締結を受け、スポーツを通して、相互の友好を深めることを目的として2年に1回持ち回りで各市の代表によるスポーツ交流を行います。今回はソフトバレーボール競技です。

日時 11月11日(土) 13時30分～15時30分

場所 行田市総合体育館メインアリーナ(行田市和田1242)

三市友好都市観光物産展

5年に1回開催される三市友好都市観光物産展。今年行田市で開催される第44回行田商工祭・忍城時代まつりと同時開催です。会場では三市の商工会関係者や物販業者などが、特産品の展示販売を行います。

日時 11月12日(日) 10時～15時

場所 行田市産業文化会館前(行田市本丸2-20)

行田市

豊かな自然と歴史が息づく 埼玉県名発祥の地



埼玉県の北部に位置する行田市は、国宝「金錯銘鉄剣」が出土した稻荷山古墳や、日本最大級の円墳である丸墓山古墳など、大型古墳が集まる埼玉古墳群を有し、埼玉県名発祥の地として知られています。また、42種類約12万株の蓮の花が咲く古代蓮の里や江戸時代の忍藩十萬石の歴史を今に伝える忍城跡、足袋の産地を物語る足袋蔵が点在する風情あるまち並みなど、豊かな自然と歴史が息づくまちです。7月中旬から10月中旬に見ごろを迎える「田んぼアート」は、2015年に「最大の田んぼアート」としてギネス世界記録®に認定されています。

白河市

歴史や文化を色濃く残す 「みちのくの玄関口」



那須連峰を望む福島県の南端中央に位置する白河市は、古くから交通の要衝として栄えてきました。阿武隈川に沿って市街地が広がり、都心まで約185km、東北新幹線で約1時間半という好アクセスである一方、豊かな自然が残っており、国史跡の小峰城跡や白河関跡といった歴史的・文化的遺産が今に受け継がれています。国史跡・名勝の南湖公園は、松平定信の「士民共楽」(武士も庶民も共に楽しむ)の理念により築造されました。周囲約2kmの湖畔には桜や松、楓が植えられ、四季折々の景色を楽しめます。

忍城跡



忍城は、文明年間(1469～86)の初めごろに成田氏により築城され、戦国時代に石田三成の水攻めにも耐え、「浮き城」としても知られている関東七名城の一つです。映画やドラマのロケ地としても活用されています。

フライ



小麦粉を水で溶き、鉄板の上で薄く焼きながら、ねぎ、肉、卵などの具を入れ、ソースやしょうゆだれを付けて食べるお好み焼きのようなもの。昭和初期に足袋工場で働く女性たちの間で大ヒットし、現在も市内20軒以上の店で提供されています。

白河関跡



奈良時代から平安時代に機能していた国境の関で、人や物資の往来を取り締まっていたと考えられています。律令制の衰退とともにその機能を失ってからは、「歌枕(和歌の名所)」として都の文化人の憧れの地となり多くの歌が詠まれました。

白河ラーメン



コシと歯応えのある手打ちちぢれ麺と、コクがありながらもさっぱりとした味のしょうゆ味のスープが特徴です。全国有数のラーメン処で市内には多くの店舗があり、日々おいしさを追求する店主たちのこだわりを求めて、県内外から多くの人でにぎわいます。